

○ 客観的な指標の算出方法

成績評価は、本校学則に定める授業科目の時間の取得状況と評価（試験、学習状況、学習報告等）によって行っている。

- ・時間の取得状況とは、各科目の3分の2（臨地実習は5分の4）以上の出席時間をいう
- ・試験とは、筆記試験、口述、論文及び実技試験等をいう
- ・学習状況とは、演習、実技、学習記録の整理状況等をいう
- ・学習報告とは、講師の指示する質問、課題に対する報告をいう

授業科目の成績評価は100点満点で算出し、80点以上を「優」、70点以上80点未満を「良」、60点以上70点未満を「可」、及び60点未満を「不可」とし、「可」以上を合格としている。成績表は4月上旬から中旬に、卒業時は2月下旬に本人に配付している。

また、成績の分布状況は、年度ごと、学年ごとに授業科目の得点（素点）の平均値を算出することによって把握し、各学生の順位付けを行っている。